

春季生活闘争未解決組合支援決議

連合愛媛は、2009春季生活闘争を、「『雇用も賃上げも』」をキーワードに、冷え込んだ勤労者の家計を回復させ、格差拡大の是正を図るために生活改善を実現する『春闘』と位置づけて、とりわけ『中小・地場組合の共闘強化』に取り組んできた。

そして、今次2009春季生活闘争によって、「効率と競争最優先から公正と連帯を重んじる社会」をめざすため、「ミニマム要求金額9,500円以上」を明示し、組合員は勿論、愛媛に働く全ての労働者への大きな応援メッセージとした。

しかしながら、昨年末からの未曾有の世界的金融危機で実態経済は悪化し、雇用問題が深刻化する中で、「雇用か賃上げか」と選択を求められる極めて厳しい労使交渉を余儀なくされた。結果、県内先行組合の妥結進捗状況は、全体で(4月6日現在)加重平均4,442円となり、昨年比マイナス1,026円となっている。

一方、地場中小組合(99人以下の同一単組)においても3,681円であり、昨年比マイナス817円で、大手・地場中小ともに厳しい結果となっている。先行大手の伸び悩みが後続の回答・妥結に少なからず影響を与えていることは否めない。

私たちは、今なお解決に至っていない多くの仲間たちがいる事実を踏まえ、今一度初心に立ち返り、負の連鎖を断ち切らなければならない。

交渉権すら持ちえない未組織労働者・非正規労働者の底上げを考えた場合、いかに厳しくとも「組織労働者」の使命として、連合愛媛に結集する全組合員と共に、断固とした決意で最後まで闘い抜くことを再確認する。そして、共闘と連帯の輪を一層拡大して、未解決組合の仲間の闘いを一丸となって強力に支援していく。

以上、決議する。

2009年 4月29日

第80回愛媛中央メーデー大会